

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライ フ・バランス 推進事業	女性の輝 く社会推 進室	誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現 するため、企業等 の取組支援などを 行うとともに、企 業や地域での様々 な活動と連携しな がら仕事と生活の 調和（ワーク・ラ イフ・バランス） の推進を図る。	仕事と生活の調和 が図られていると 感じる人の割合	68.5% (R1年 度)	目標 R1年度比 増加	R1年度比 増加	R1年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	7,475	6,911	減額	8,400	順調	仕事と生活の両立が図られ ていると感じる人の割合が上 昇するように、女性活躍・ ワークライフバランス表彰の 実施や、企業へのアドバイ ザー・研修講師の派遣等、企 業への支援を継続して実施す るとともに、事業の効果的な PRを図る。また、市内企業に 女性活躍やワーク・ライフ・ バランスの推進に係る情報を 広く周知することで、取組へ の着手を促す。	順調	企業については、引き続き 各種支援を通じて意識改革を 一層推進していくとともに、 企業のニーズを踏まえ、効率 的な事業実施や効果的なPRを 検討していく。 女性個人については、働く 女性・働きたい女性が、各々 の希望に応じ、その個性や能 力を十分に発揮して活躍でき るよう、引き続きウーマン ワークカフェ北九州を拠点と したワンストップでの就業支 援を行うとともに、時代の ニーズを踏まえたスキルアッ プ支援など、女性に寄り添っ た幅広い支援を行う。
	2	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推 進事業	女性の輝 く社会推 進室	働く女性・働 きたい女性が、各々 の希望に応じ、そ の個性と能力を十 分に発揮し輝ける よう、キャリアア ップや就職、創 業支援、子育てと の両立支援等、幅 広く女性の就業を 支援するほか、 ウーマンワークカ フェ北九州の更な る周知広報と新規 利用者の獲得を図 る。	女性の就業率（25 ～44歳）	70% (H27年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	73 %	73% (R5年 度)	継続	11,092	10,248	減額	9,300	順調	働く女性や働きたい女性 が、各々の希望に応じ、その 個性や能力を十分に発揮して 活躍できるよう、引き続き幅 広い支援を行う。子育て中の 女性の就業支援や女性のキャ リアアップ、起業支援などに ついては、常に最新の社会情 勢や女性特有のニーズを踏ま えた企画を行い、より効果的 な方法を工夫して行う。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
II-3-(2)-① 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	3	5 8 10	北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム推進事業	女性の輝く社会推進室	<p>女性職員の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進は一体的に取組みを推進することにより相乗効果が高まるため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画「女性活躍推進アクションプラン（第2期：平成26年度～30年度）」と次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム（平成27年度～31年度）」を整理・統合し、令和元年5月に「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を策定した。組織の持続的な成長と多様化する市民ニーズへ対応するため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成し、全ての職員が育児や介護等のライフスタイルの変化に応じて柔軟な働き方を選択することで、いきいきと働きがいを持って活躍できる職場を目指す。</p>	<p>女性役職者（係長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）</p> <p>17.6% (H30年度)</p>	<p>単年度目標なし</p> <p>21.2 %</p> <p>—</p>	<p>単年度目標なし</p> <p>—</p>	<p>23 %</p> <p>—</p>	<p>23% (R5年度)</p>	継続	4,520	4,340	維持	10,475	順調	<p>市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施していく。特に、女性役職者の長期的・計画的な育成に資する研修等を通じて、女性の活躍推進を加速させる。</p> <p>男女共同参画社会の形成の推進にあたって効果的な取組を実施するため、市民のニーズ等を踏まえながら講座などの事業内容の見直しに取り組む。</p> <p>「男女共同参画フォーラム in北九州」や「男女共同参画に関する広報啓発事業」の推進により、市民に対する広報活動を効果的に実施する。</p> <p>コロナ禍での事業実施を契機に取り入れたオンライン等による講義を積極的に進め、これまで参加していなかった若年層等を含めた幅広い層を見据えた事業を実施する。</p>		
<p>女性管理職（課長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）</p> <p>13.6% (H30年度)</p>	<p>単年度目標なし</p> <p>14.5 %</p> <p>—</p>	<p>単年度目標なし</p> <p>—</p>	<p>15 %</p> <p>—</p>	<p>15% (R5年度)</p>															
<p>部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」</p> <p>88.0% (H27年度)</p>	<p>単年度目標なし</p> <p>94.0 %</p> <p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>95% (R5年度)</p>															
<p>男性職員の育児休業取得率</p> <p>14.8% (H29年度)</p>	<p>単年度目標なし</p> <p>60.3 %</p> <p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>30% (R4年度)</p>															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
4		④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰	男女共同参画 センター管理 運営事業	女性 の輝 く社 会推 進室	男女共同参画セ ンター・ムーブに おいて、施設の運 営をはじめ、地域 に根ざした男女共 同参画推進、女性 リーダー育成、就 職・再就職に向け た就業・キャリア アップ支援、ある いは相談事業な ど、様々な事業を 展開し、男女共同 参画社会の形成を 推進する。	性別による固定的 役割分担意識に肯 定的な人の割合 ※中期目標改訂	17.0% (R4年 度)	目標 単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	単年度目標 なし	R4年度 の水 準よ り減 少 (R9年 度)	継続	244,088	244,088	維持	8,950	順調	男女共同参画社会の形成の 推進に向けたイベントや講座 の開催、就業・キャリアアッ プ支援、相談事業などを、事 業計画に基づき実施し、市民 の意識改革に繋げていく。 男女共同参画社会の形成を 一層推進するため、より多く の方が関心を持って参加でき るイベントや講座となるよう 継続的にテーマや事業手法の 見直しを検討する。	
						男女共同参画社会 という言葉の認知 度 ※中期目標改訂	78.4% (R4年 度)	目標 単年度目標 なし	80 %	単年度目標 なし									R4年度 の水 準よ り増 加 (R9年 度)
5		④ ⑤ ⑩ ⑰	地域における 男女共同参画 推進啓発事業 【男女共同参 画広報・啓発 事業】	女性 の輝 く社 会推 進室	地域における男 女共同参画の推進 を図るため、地域 で活動している団 体・グループ等が 企画・実施する広 報啓発活動を支援 し、男女共同参画 に関する理解を深 める。	性別による固定的 役割分担意識に肯 定的な人の割合 ※中期目標改訂	17.0% (R4年 度)	目標 単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	単年度目標 なし	R4年度 の水 準よ り減 少 (R9年 度)	継続	3,421	3,508	維持	5,050	順調	「男女共同参画フォーラム in北九州」及び「男女共同参 画に関する広報啓発事業」を 実施する団体それぞれに対 し、イベント内容や参加対象 の幅を広げる工夫を行うよう 引き続き働きかけ、市民への 意識改革に繋げていく。 オンライン形式を取り入れ た開催を積極的に進め、啓発 対象拡大に繋げていく。 【中期目標の変更内容】 令和4年度に実施した市民 意識調査の結果を踏まえ、中 期目標の見直しを行う。 性別による固定的役割分担意 識に肯定的な人の割合 H29年度の水準より減少（R4 年度）⇒R4年度の水準より減 少（R9年度）	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
II-3-(2)-② ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	6	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性の輝く社会推進室	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業等の取組支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。	目標	68.5% (R1年度)	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	継続	7,475	6,911	減額	8,400	順調	仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が上昇するように、女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施や、企業へのアドバイザー・研修講師の派遣等、企業への支援を継続して実施するとともに、事業の効果的なPRを図る。また、市内企業に女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報を広く周知することで、取組への着手を促す。	順調	企業については、引き続き各種支援を通じて意識改革を一層推進していくとともに、企業のニーズを踏まえ、効果的な事業実施や効果的なPRを検討していく。 市内企業等のイクボス推進については、当該同盟の一層の拡大を目指すとともに、本市全体の機運醸成を図る。 市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施していく。
						実績	66.3 %													
7	⑤ ⑧ ⑭	北九州イクボス同盟推進事業	女性の輝く社会推進室	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	目標	68.5% (R1年度)	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	継続	9,455	5,955	減額	9,550	順調	経営者・管理職の意識改革を図るための研修会等を引き続き実施するとともに、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。	順調		
					実績	66.3 %														達成率
					目標	597社 (H26年度)	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	1,600社 (R6年度)	継続	9,455	5,955	減額	9,550	順調				
					実績	ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）	1,523 社												達成率	—

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
8	5 8 10		北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ バランス推進 プログラム推 進事業	女性 の輝 く社 会推 進室	女性職員の活躍 とワーク・ライ フ・バランスの推 進は一体的に取組 みを推進すること により相乗効果が 高まるため、女性 活躍推進法に基づ く特定事業主行動 計画「女性活躍推 進アクションプラン (第2期：平成26 年度～30年度)」 と次世代育成支援 対策推進法に基づ く特定事業主行動 計画「北九州市職 員ダイバーシティ 推進プログラム (平成27年度～31 年度)」を整理・ 統合し、令和元年5 月に「北九州市職 員女性活躍・ワー クライフバランス 推進プログラム」 を策定した。組織 の持続的な成長と 多様化する市民 ニーズへ対応する ため、性別にかか わらず活躍できる 組織風土を醸成 し、全ての職員が 育児や介護等のラ イフスタイルの変 化に応じて柔軟な 働き方を選択する ことで、いきいき と働きがいを持っ て活躍できる職場 を目指す。	両立しながら新た な業務等にチャレ ンジしたいと思う 職員の割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	80 %	80% (R5年 度)	継続	4,520	4,340	維持	10,475	順調		
							実績	—											
							達成率	—											
						男性職員の育児休 業取得率	目標	単年度目標 なし	30 %	単年度目標 なし	次期計 画に向 けR5年 度中に 策定予 定								
							実績	60.3 %											
							達成率	—											
						部課長級の多面評 価「イクボス10か 条を実践できている 管理職の割合」	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	95 %	95% (R5年 度)								
							実績	94.0 %											
							達成率	—											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
II-3-(2)-③ 性別による人権侵害行為の根絶	9	⑤ ⑩ ⑰	男女共同参画基本計画推進事業（配偶者等からの暴力対策事業）	女性の輝く社会推進室	配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力は、重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のための広報・啓発を行う。 配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合 ※中期目標改訂	76.8% (R4年度)	目標 単年度目標なし	80 %	単年度目標なし	R4年度の水準より増加 (R9年度)	継続	5,853	5,288	減額	5,050	順調	若年時からの意識改革は重要であり、令和3年度改訂の小・中学生向け男女共同参画に関する副読本を用いた、子どもの頃からの男女共同参画の意識の醸成を図る取組や、高校・大学などでのデートDV予防教室、DV啓発リーフレット配布の取組などを継続していく。 【中期目標の変更内容】 令和4年度に実施した市民意識調査の結果を踏まえ、中期目標の見直しを行う。 配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合 80%（R4年度）⇒R4年度の水準より増加 (R9年度)	順調	若年時からの意識改革は重要であり、男女共同参画の意識の醸成を図る取組や、高校・大学などでのデートDV予防教室開催などを継続していく。
							実績 —												
							達成率 —												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
II-3-(2)-④ 女性の 活躍推 進	10	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ バランス推進 プログラム推 進事業	女性 の輝 く社 会推 進室	女性職員の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進は一体的に取組みを推進することにより相乗効果が高まるため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画「女性活躍推進アクションプラン（第2期：平成26年度～30年度）」と次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム（平成27年度～31年度）」を整理・統合し、令和元年5月に「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を策定した。組織の持続的な成長と多様化する市民ニーズへ対応するため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成し、全ての職員が育児や介護等のライフスタイルの変化に応じて柔軟な働き方を選択することで、いきいきと働きがいを持って活躍できる職場を目指す。	女性役職者（係長級以上）比率 (教職員・消防職員を除く)	17.6% (H30年度)	単年度目標 なし	単年度目標 なし	23 %	23% (R5年度)							市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施していく。特に女性役職者の長期的・計画的な育成に資する研修等を通じて、女性の活躍推進を加速させる。 市内企業等のイクボス推進については、当該同盟の一層の拡大を目指すとともに、本市全体の機運醸成を図る。 女性個人については、働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性や能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの就業支援を行うとともに、時代のニーズを踏まえたスキルアップ支援など、女性に寄り添った幅広い支援を行う。 次世代活躍応援事業について、社会において女性が自らの個性・能力を十分に発揮して活躍するためには、学生時代から性別による固定的役割分担意識をなくし、理工系分野など多様な進路に興味関心を持てるようにすることが重要である。 今後とも、女性の活躍が進んでいない分野を中心に、市内の大学や理工系企業と連携しながら、出張講義や実験・業務体験の提供等による女子学生の進路選択を支援していく。	
					女性管理職（課長級以上）比率 (教職員・消防職員を除く)	13.6% (H30年度)	単年度目標 なし	単年度目標 なし	15 %	15% (R5年度)									
					部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	88.0% (H27年度)	単年度目標 なし	単年度目標 なし	94.0 %	95% (R5年度)									
					男性職員の育児休業取得率	14.8% (H29年度)	単年度目標 なし	単年度目標 なし	60.3 %	次期計画に向けR5年度中に策定予定									
											継続	4,520	4,340	維持	10,475	順調			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
11	⑤ ⑧ ⑰		北九州イクボス同盟推進事業	女性の輝く社会推進室	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	68.5% (R1年度)	目標 R1年度比増加	実績 66.3 %	達成率 96.8 %	R1年度比増加 (R6年度)	継続	9,455	5,955	減額	9,550	順調	経営者・管理職の意識改革を図るための研修会等を引き続き実施するとともに、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。	
						ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）	597社 (H26年度)	目標 単年度目標なし	実績 1,523 社	達成率 —									1,600社 (R6年度)
								目標 単年度目標なし											
								目標 単年度目標なし											
12	④ ⑤ ⑧ ⑩		女性輝き！推進事業	女性の輝く社会推進室	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	女性の就業率（25～44歳）	70% (H27年 国勢調査)	目標 単年度目標なし	実績 —	達成率 —	73% (R5年度)	継続	11,092	10,248	減額	9,300	順調	働く女性や働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性や能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続き幅広い支援を行う。子育て中の女性の就業支援や女性のキャリアアップ、起業支援などについては、常に最新の社会情勢や女性特有のニーズを踏まえた企画を行い、より効果的な方法を工夫して行う。	
								目標 単年度目標なし											
								目標 単年度目標なし											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
13	⑤ ⑧ ⑩		ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性の輝く社会推進室	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	女性の就業率（25～44歳）	70% (H27年 国勢調査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	73 %	73% (R5年 度)	継続	32,616	32,278	維持	6,800	やや 遅れ		
							実績 —												
							達成率 —												
						ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標 3,380 人			3,500人 (R6年 度)								
							実績 1,797 人												
							達成率 53.2 %												
						ウーマンワークカフェ北九州利用者の就職決定率	—	目標 /	33 %	34 %	35% (R6年 度)								
							実績 /												
							達成率 /												
						ウーマンワークカフェ北九州相談者数	—	目標 /	6,300 人	6,400 人	6,500人 (R6年 度)								
							実績 /												
							達成率 /												
14	④ ⑤ ⑧ ⑩		次世代活躍応援事業	女性の輝く社会推進室	女性の就職促進を目指し、性別による固定的な価値観や生き方を払拭するため、学生の頃から「多様な働き方」などの啓発に取り組む。また、子ども・学生の成長段階にあわせた研究・職業体験プログラムの提供に取り組む高等教育機関を支援する。	女性の就業率（25～44歳）	70% (H27年 国勢調査)	目標 単年度目標 なし			73% (R5年 度)	継続	2,200	2,200	維持	4,825	順調		
							実績 —												
							達成率 —												
						研究・職業体験プログラム参加者数 ※指標廃止	—	目標 /	300 人		500人 (R6年 度)								
							実績 /												
							達成率 /												
						研究・職業体験プログラム参加者へのアンケート結果の満足度 ※指標追加	—	目標 /		80 %	R5年度 の水準 より増 加 (R9年 度)								
							実績 /												
							達成率 /												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
II-3- (4)-① 平和の 尊さへ の理解 の促進	15	④	平和のまち ミュージアム 管理・運営事 業	平和の まち ミュ ージ アム 事務 局	<p>「北九州市平和のまちミュージアム」の運営にかかる受付監視、施設保守・保安業務、光熱水費等の各種経費を計上し、円滑な館の運営に取り組む。</p> <p>また、ミュージアムへの幅広い世代の来館を図るため、近隣施設と連携した取組み等を進めるとともに、戦争体験や戦時資料の保存・継承に務める。</p>	(仮称) 平和資料館の建設	目標				(仮称) 平和資料館の建設	継続	42,000	39,185	減額	30,050	順調	引き続き、ミュージアムの円滑な運営に努めるほか、様々な企画展・講座等を実施し、来場促進を図る。	順調	ミュージアムの円滑な運営に加え、様々な企画展を実施するなど、来場促進に務める。
							実績	—												
	16	④	非核・平和推 進事業	平和の まち ミュ ージ アム 事務 局	<p>本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、「嘉代子桜・親子桜」の植樹や長崎市への市民派遣など、平和に関連した様々な事業を実施する。</p>	市民が平和の尊さを理解し、共有していくこと	目標	—	—	—	市民が平和の尊さを理解すること	継続	10,000	10,000	維持	13,950	順調	長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等については、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底したうえで実施する。「嘉代子桜・親子桜」については、私立の中学校・高校への植樹を進めるほか、植樹済の学校についても、生育調査・補植を実施する。	順調	市民が平和の尊さを理解すること
							実績	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	17	⑩	北九州市自治基本条例推進事業	総務課	本市の自治の基本的ルールを定めた「北九州市自治基本条例」（平成22年10月1日施行）の意義や理念などを多くの市民に理解してもらうため、周知等を行う。また、情報共有や住民参画の視点から業務を行い、条例の目指すまちづくりができるよう、職員向けの研修を行う。	市民が主役の自治（市民自治）の確立	—	—	—	—	市民自治の確立	継続	1,110	2,510	増額	4,650	順調	引き続き、市民向けの周知活動や職員に対する研修等を実施する。また、特に市政への関心が低い若い世代への周知を図るため、大学等への出前講演などに取り組む。 また、令和6年度開催予定の自治基本条例評価検討委員会で必要となる項目の市民意識調査を実施する。	市民が主役の自治（住民自治）の確立に向け、自治基本条例に対する理解を深め、市民の市政への参画を推進していくため、今後も条例の周知活動を継続実施していく。 また、公民連携推進については、公民連携アドバイザーを活用した内部の意識醸成、「提案型ネーミングライツ制度」におけるパートナー代理店との連携強化を行う。
	18	⑩	公民連携推進事業	行政経営課	厳しい財政状況の中から持続的かつ安定的な財源を確保するため、「提案型ネーミングライツ制度」を導入する。 さらに、公民連携窓口を設置し、民間の知見を活用した地域課題の解決や新たな事業機会の創出を図る取組を推進するとともに、効率的な事業運営を図る。	民間事業者からの提案受付件数（累計）	—	5 件	10 件	20件（R4～R6年度）	継続	6,100	5,000	減額	4,775	—	令和5年度から本格実施する、公民連携総合窓口の運営にあたり、公民連携アドバイザーを活用した内部の意識醸成や、民間サービスを活用した公民連携の推進を図り、事業者からより良質な提案を受けられるよう取り組む。 また、「提案型ネーミングライツ制度」については、パートナー代理店との連携により、導入施設の拡大を図る。	—	
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の地域活動への参画促進	19	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性の輝く社会推進室	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業等の取組支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	68.5%（R1年度）	RI年度比増加	RI年度比増加	RI年度比増加	RI年度比増加（R6年度）	継続	7,475	6,911	減額	8,400	順調	仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が上昇するように、女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施や、企業へのアドバイザー・研修講師の派遣等、企業への支援を継続して実施するとともに、事業の効果的なPRを図る。また、市内企業に女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報を広く周知することで、取組への着手を促す。	企業については、引き続き各種支援を通じて意識改革を一層推進していくとともに、企業のニーズを踏まえ、効率的な事業実施や効果的なPRを検討していく。 女性個人については、働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの就業支援を行うとともに、時代のニーズを踏まえたスキルアップ支援など、女性に寄り添った幅広い支援を行う。
						新規獲得分の命名権料（年額）	—	10,000 千円	10,000 千円	新たな税外収入の確保	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標			
IV-3-(2)-① 若年者の就業 意識の啓発や 能力開発・就 職活動への支 援	20	④ ⑤ ⑧ ⑩	次世代活躍支 援事業	女性の輝く社 会推進室	女性の就職促進 を目指し、性別に よる固定的な価値 観や生き方を払拭 するため、学生の 頃から「多様な働 き方」などの啓発 に取り組む。 また、子ども・ 学生の成長段階に あわせた研究・職 業体験プログラムの 提供に取り組む 高等教育機関を支 援する。	女性の就業率（25 ～44歳）	70% (H27年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし							73% (R5年 度)	継続	2,200	2,200	維持	4,825	順調	女性の活躍が進んでいない 分野への若年層の進路選択の 動機づけを行うため、市内高 等教育機関と市内企業が連携 して、子ども・学生の成長段 階に合わせた研究・職業体験 プログラムの提供や女性ロー ルモデル提供などに取り組む ことを支援する。	社会において女性が自らの 個性・能力を十分に発揮して 活躍するためには、学生時代 から性別による固定的役割分 担意識をなくし、理工系分野 など多様な進路に興味関心 を持てるようにすることが重要 である。 今後とも、女性の活躍が進 んでいない分野を中心に、市 内の大学や理工系企業と連携 しながら、出張講義や実験・ 業務体験の提供等による女子 学生の進路選択を支援してい く。
						研究・職業体験プ ログラム参加者数 ※指標廃止	—	目標 300人				500人 (R6年 度)											
						研究・職業体験プ ログラム参加者へ のアンケート結果 の満足度 ※指標追加	—	目標 80%				R5年度 の水準 より増 加 (R9年 度)											
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産 業都市づくりの 推進	21	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰	男女共同参画 センター管理 運営事業	女性の輝く社 会推進室	男女共同参画セ ンター・ムーブに おいて、施設の運 営をはじめ、地域 に根ざした男女共 同参画推進、女性 リーダー育成、就 職・再就職に向けた 就業・キャリアア ップ支援、ある いは相談事業な ど、様々な事業を 展開し、男女共同 参画社会の形成を 推進する。	性別による固定的 役割分担意識に肯 定的な人の割合 ※中期目標改訂	17.0% (R4年 度)	目標 単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水準 より減少	単年度目標 なし					R4年度 の水準 より減 少 (R9年 度)	継続	244,088	244,088	維持	8,950	順調	男女共同参画社会の形成の 推進に向けたイベントや講座 の開催、就業・キャリアア ップ支援、相談事業などを、事 業計画に基づき実施し、市民 の意識改革に繋げていく。 男女共同参画社会の形成を 一層推進するため、より多く の方が関心を持って参加でき るイベントや講座となるよう 継続的にテーマや事業手法の 見直しを検討する。	男女共同参画社会の形成の 推進にあたって効果的な取組 を実施するため、市民のニー ズ等を踏まえながら講座など の事業内容の見直しに組み 込む。 コロナ禍での事業実施を契 機に取り入れたオンライン等 による講義を積極的に進める 等により、これまで参加して いなかった若年層を含めた 幅広い層を見据えた事業を実 施する。 次世代活躍支援事業につい て、社会において女性が自らの 個性・能力を十分に発揮し て活躍するためには、学生時 代から性別による固定的役割 分担意識をなくし、理工系分 野など多様な進路に興味関心 を持てるようにすることが重 要である。 今後とも、女性の活躍が進 んでいない分野を中心に、市 内の大学や理工系企業と連携 しながら、出張講義や実験・ 業務体験の提供等による女子 学生の進路選択を支援してい く。 女性個人については、働く
						男女共同参画社会 という言葉の認知 度 ※中期目標改訂	78.4% (R4年 度)	目標 単年度目標 なし	80%	単年度目標 なし		R4年度 の水準 より増 加 (R9年 度)											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
22	④ ⑤ ⑧ ⑩		女性輝き！推 進事業	女性の輝 く社 会推 進室	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	指標名等	70% (H27年 国勢調 査)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73 %	73% (R5年 度)	継続	11,092	10,248	減額	9,300	順調	働く女性や働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性や能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続き幅広い支援を行う。子育て中の女性の就業支援や女性のキャリアアップ、起業支援などについては、常に最新の社会情勢や女性特有のニーズを踏まえた企画を行い、より効果的な方法を工夫して行う。	女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性や能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの就業支援を行うとともに、時代のニーズを踏まえたスキルアップ支援など、女性に寄り添った幅広い支援を行う。 市内企業等のイクボス推進については、当該同盟の一層の拡大を目指すとともに、本市全体の機運醸成を図る。	
						実績	—														
						達成率	—														
23	⑤ ⑧ ⑩ ⑫ ⑮		北九州イクボ ス同盟推進事 業	女性の輝 く社 会推 進室	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	68.5% (R1年 度)	目標	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)	継続	9,455	5,955	減額	9,550	順調	経営者・管理職の意識改革を図るための研修会等を引き続き実施するとともに、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。		
						実績	66.3 %														
						達成率	96.8 %														
						指標名等	ダイバーシティ行 動宣言等登録・届 出企業（累計）	597社 (H26年 度)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし									1,600社 (R6年 度)
						実績	1,523 社														
						達成率	—														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
24	⑤ ⑧ ⑩		ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性の輝く社会推進室	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	女性の就業率（25～44歳）	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	73 %	73% (R5年度)	継続	32,616	32,278	維持	6,800	やや遅れ		
							実績	—											
							達成率	—											
						ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	目標	3,380 人			3,500人 (R6年度)								
							実績	1,797 人											
							達成率	53.2 %											
						ウーマンワークカフェ北九州利用者の就職決定率	目標		33 %	34 %	35% (R6年度)								
							実績												
							達成率												
						ウーマンワークカフェ北九州相談者数	目標		6,300 人	6,400 人	6,500人 (R6年度)								
							実績												
							達成率												
25	④ ⑤ ⑧ ⑩		次世代活躍応援事業	女性の輝く社会推進室	女性の就職促進を目指し、性別による固定的な価値観や生き方を払拭するため、学生の頃から「多様な働き方」などの啓発に取り組む。また、子ども・学生の成長段階にあわせた研究・職業体験プログラムの提供に高等機関を支援する。	女性の就業率（25～44歳）	目標	単年度目標なし			73% (R5年度)	継続	2,200	2,200	維持	4,825	順調		
							実績	—											
							達成率	—											
						研究・職業体験プログラム参加者数 ※指標廃止	目標		300 人		500人 (R6年度)								
							実績												
							達成率												
						研究・職業体験プログラム参加者へのアンケート結果の満足度 ※指標追加	目標			80 %	R5年度 の水準 より増 加 (R9年 度)								
							実績												
							達成率												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
VII-1- (3)-③ 社会制度や社会問題 などに関する 国際協力の推進	26	④ ⑤ ⑩	(公財) アジ ア女性交流・ 研究フォーラ ム事業	女性 の輝 く社 会推 進室	「国際的な最新 情報の収集・発 信」「成果の地域 還元」「あらゆる 分野での女性のエン パワーメント」 「次世代育成」 「情報提供の充 実」を目指し、 様々な事業を実施 する、(公財)ア ジア女性交流・研 究フォーラムの活 動を支援する。	性別による固定的 役割分担意識に肯 定的な人の割合 ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	単年度目標 なし	R4年度 の水準 より減 少 (R9年 度)	継続	39,000	39,000	維持	4,050	順調	「アジア女性会議」や市民 向けの研究報告会などの開催 を通じて、男女共同参画に関 する意識の醸成に努める。 効率的・効果的な取組を進 めるとともに、女性の地位向 上と男女共同参画の形成の推 進に寄与し、「第4次北九州 市男女共同参画基本計画」の 重点取組に直結した事業に取り 組む。	順調	本市の男女共同参画社会の 形成の推進に向け、課題意識 や解決に繋がる取組を進めて いく。
							実績	—												
							達成率	—												
						男女共同参画社会 という言葉の認知 度 ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	80 %	単年度目標 なし	R4年度 の水準 より増 加 (R9年 度)									
							実績	—												
							達成率	—												